

富士地区民生委員児童委員協議会委員名簿

地域住民に寄り添い、身近な相談相手である民生委員・児童委員です。
日常、お気軽にご相談ください。

(敬称略)

No.	担当地域	氏名	No.	担当地域	氏名
1	古湯1番組～6番組	山口 広喜	15	上無津呂	嘉村 スミエ
2	古湯7番組～9番組・西畑瀬	中村 里美	16	下無津呂	満行 幸子
3	貝野・広溜・杉山	光野 洋子	17	藤瀬・上関屋	大野 義人
4	市川	松本 ちづる	18	古場	嘉村 和美
5	苮木・鎌原	飯笹 和子	19	下合瀬・上合瀬・新村開拓	豆田 浩子
6	柚木	山口 和光	20	下小副川	吉浦 利清
7	熊川	西國 勝助	21	須田	杉山 貴子
8	湯の原	真島 登	22	大野原	光野 幸太郎
9	内野	原田 美幸	23	上小副川	内田 美由紀
10	中ノ原・小川内	陣内 正治	24	下関屋	浦川 弘範
11	中原・大野	光石 桂子	25	菖蒲	森木 多代子
12	栗並	藤田 紀子	26	主任児童委員	田中 慎二
13	大串	右近 隆城	27	主任指導委員	満行 幸
14	麻那古	嘉村 須奈美			

令和5年度 富士地区社会福祉協議会(6月～9月)月別事業計画

月 日	会 議 名	事 業(行 事)
6月 1日(木)	社協だより発行(第7号)	憩の家・出てこん場事業 見守り協力員活動
6月19日(月)10:00～	第1回佐賀市校区社協会長会	
6月21日(水)	住民主体サービス事業に伴う事業調整 (高齢福祉課・おたっしや本舗・地区社協)	
6月28日(水)10:00～	第2回常任理事会	訪問交流活動
7月24日(月)14:00～	高齢者サロン連絡会議	
8月10日(木)9:00～	初盆参り	
8月18日(金)10:00～	第2回佐賀市校区社協会長会	地区社協役員研修会
8月25日(金)10:00～	第3回常任理事会	
9月 7日(木)14:00～	支え合い活動支援団体連絡会議	
9月20日(水)	住民主体サービス事業に伴う事業調整 (高齢福祉課・おたっしや本舗・地区社協)	
9月下旬		

ご寄附お礼

富士地区の社会福祉事業のためにと、次の方々からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。いただきました浄財は、大切に使用させていただきます。
(令和5年1月31日から5月20日までの受付分で、寄附者のご了解を得て掲載しています。)

(栗並)	西 成 子 様	(故 西 秀一朗 様)
(杉山)	杉 山 貞 信 様	(故 杉 山 良 野 様)
(上熊川)	井 上 信 宏 様	(故 横 尾 博 子 様)
(大串)	立 石 直 美 様	(故 立 石 信 代 様)
(大串)	田 中 ユキエ 様	(故 田 中 政 見 様)
(小川内)	江 口 かほる 様	(故 江 口 福 男 様)
(貝野)	光 野 暢 浩 様	(故 光 野 シヅエ 様)
(下合瀬)	豆 田 絹 代 様	(故 豆 田 勇二郎 様)

ご寄附は、富士地区社会福祉協議会(富士公民館内)で、お受けいたします。
問い合わせ先 富士地区社会福祉協議会(富士公民館内)TEL58-2882
大坪 090-1515-7700 森木 080-1734-1546



令和5年6月1日発行

第7号

富士地区社協だより

発行責任者 富士地区社会福祉協議会 会長 吉浦 利清



令和5年度富士地区社会福祉協議会総会を開催

—「助けあい・支え合い」による地域づくりを確認!—

4月26日の富士地区社会福祉協議会総会には、55名の方々に参加いただき、「助けあい・支え合い」による地域づくりを進めていくことを確認しました。
総会は、来賓11名のご臨席の下、佐賀市保健福祉部長、佐賀市社会福祉協議会会長にご祝辞をいただき、議事として令和4年度事業報告及び決算(特別会計含む)、令和5年度事業計画並びに予算(特別会計含む)、役員変更の7議案を上程し、7議案全て承認されました。

令和4年度 富士地区社会福祉協議会事業報告

住み慣れた地域に安心して住み続けられるよう、
「助け合い・支えあい」による地域づくりの推進に向け、
4つの重点事業に取り組みました。

1「見守り協力員」の設置体制による遠目の見守り活動

各自治会に「見守り協力員」さんを設置いただき、町内(33自治会)に103名の方を委嘱しています。見守り協力員さんは、電気がついたままとか、洗濯物が干したままとか、遠目で見守り、異変を感じた時に自治会長さんや民生委員さんに連絡していただく取り組みで、必要に応じ「見守り連絡調整会議」が自治会ごとに開かれています。また、見守り協力員、自治会長、民生児童委員、駐在所、消防署等協力団体を対象に見守り協力員研修会を開催し、関係機関のネットワークの必要性を確認しました。

見守り対象は、65歳以上のひとり暮らしや高齢者世帯、また特に気になる方など、各自治会で選定していただいています。

2「憩の家・出てこん場事業」

毎週火・水・木の運営で、高齢者の外出や交流の機会をつくり、温泉入浴と併せて、健康体操や講話、生きがい活動等、介護予防に取り組んでいます。



対象は、概ね65歳以上で、介助を必要としない方で、登録された方は53名で、91日間運営しました。参加延べ人数は、459名で1日の参加平均は、5名でした。また、「憩の家・出てこん場事業」の充実に向け、「憩の家事業活性化委員会2022」を開き、「憩の家事業の取り組みへの理解と事業へのご意見」をいただきました。

3「年末年始地域福祉交流事業」

歳末助け合い活動の一環として、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に「餅と屠蘇、それにメッセージ」を添えて民生委員さんにより、年末に安否確認を行っていただきました。屠蘇とメッセージは、町内の小中学校の支援、また、餅は、米洗いから餅つきまで、



(屠蘇作りに向け、薬草について学習)

富士町役場OBの朋友会をはじめ、地域のボランティアさん延べ42名の方々に携わっていただき、174名の方に配布しました。

4「地区社協理解促進活動」

地区社会福祉協議を広く住民の方に知っていただくため、社協だよりの発行等の広報活動です。「社協だよりの」は、6月、10月、1月の年3回発行し、自治会長様のご協力により、各世帯に配布することができました。

地区社会福祉協議会の活動は、助成金と寄附金が大きな財源で、寄附金をいただいた故人18名への初盆参りを行いました。

5 事業運営

富士地区社会福祉協議会の運営は、事業報告、決算、事業計画、予算等を審議いただく総会、地区社協の基本的事項を協議する役員会を年2回、事業や企画運営を調整する常任理事会を年9回開催しました。また、日頃から、支え合い活動に取り組まれているコミュニティカフェ、女性消防団、高齢者サロン、ボランティア連絡協議会の代表者にお集まりいただき、支え合い活動の必要性について共に考える会議を開催し、支え合いの輪を広げることができました。

会議の開催につきましては、計画通り遂行することができました。

- 1) 総会 1回/年
- 2) 役員会 2回/年
- 3) 常任理事会 9回/年
- 4) 校区社協会会長会 5回/年
- 5) 支え合い活動支援団体連絡調整会議
- 6) 高齢者憩の家事業活性化委員会

令和4年度 富士地区社会福祉協議会 収支決算書

収入の部	項	目	4年度決算額	摘	要
	01	前年度繰越金	690,756		
	02	自治会助成金	150,000		富士自治会
	03	市社協助成金	631,000		校区社協活動事業、福祉協力員等活動、助けあい・支え合い地域づくり事業、年末年始地域福祉交流事業、福祉のまちづくり支援事業
		市補助金	300,000		憩の家・出てこん場事業
	04	寄附金	582,302		20件
	05	参加費収入	26,500		憩の家登録費
	06	雑収入	7		預金利子
	合	計	2,380,565		
支出の部	項	目	4年度決算額	摘	要
	01	事務費	230,661		会議費、事務用品費、通信費、広報費、役員活動費等
	02	事業費	907,971		
		01 研修費	23,030		地区社協役員研修・校区社協会会長会研修負担金
		02 活動費	12,000		活動費
		03 年末年始地域福祉交流事業	148,332		歳末餅つき用材料代他
		04 福祉(見守り)協力員等活動費	83,921		協力員活動・通信費・湯茶・コピー用紙等
		05 憩の家・出てこん場事業	431,668		講師謝金(講座)・支援員謝金・通信費(切手)福祉サービス補償・送迎サービス補償・ボランティア保険(支援員)・消耗品・輪投げセット
		06 地区社協理解促進事業	97,150		社協だよりの発行・ユニホーム作成等
		07 共同募金配分事業	111,870		福祉のまちづくり支援事業
	03	助成金	90,000		支え合い支援団体(9団体)
	04	慶弔費	54,000		物故者初盆参り(寄付者対象)
	05	繰出金	625,051		特別会計(寄附金)
	06	予備費	0		
	合	計	1,907,683		
収入合計			2,380,565		
支出合計			1,907,683		
差引残金			472,882	(令和5年度へ繰り越し)	

令和4年度富士地区社会福祉協議会特別会計収支決算書

収入の部	項	目	4年度決算額	摘	要
	01	前年度繰越金	0		
	02	繰入金	625,051		一般会計繰入金
	03	雑収入	3		預金利子
	合	計	625,054		
支出の部	項	目	4年度決算額	摘	要
	01	繰出金	0		
	02	予備費	0		
	合	計	0		
収入合計			625,054		
支出合計			0		
差引残金			625,054	(令和5年度へ繰り越し)	

令和4年度に20件の寄付をいただきました

項	目	件数	金額(円)	合計
①香典返し		19件	530,000	20件 582,302円
②特殊寄附(町おこし・寺おこし)		1件	52,302	

富士地区の社会福祉事業のために寄附金で地域福祉事業を実施しました

地域福祉事業	
①憩の家・出てこん場事業 ○総事業費 431,668 (財源内訳) ①寄附金 105,168 ②補助金 300,000 ③登録費 26,500	②年末年始地域福祉交流事業 ○総事業費 148,332 (財源内訳) ①寄附金 28,332 ②歳末たすけあい配分金 120,000
③支え合い活動支援助成金 ○総事業費 90,000 (財源内訳) ①寄附金 90,000	④福祉のまちづくり ○総事業費 111,870 (財源内訳) ①寄附金 22,870 ②共同募金配分金 89,000
⑤物故者への初盆お供え ○総事業費 54,000 (財源内訳) ①寄附金 54,000	令和4年度にいただいた浄財の一部を①から⑤までの事業に充当させていただきました。 浄財の残金281,932円は、令和5年度特別会計へ積み立てます。
寄付金充当 300,370	

町内の支え合い活動の実践

上無津呂サロン

代表 谷口 紀美枝

外出の機会をたくさん計画しましたが、コロナ禍ほとんどの計画を中止せざるを得ませんでした。しかし、公民館でできることを考え、その一つに地域のボランティアグループ朗読ひきのメンバーによる紙芝居や手遊び、運動と盛りだくさん取り組んでいただきました。また、地域の警察官駐在所から、オレオレ詐欺等についてお話を聞くなど、楽しく学習しています。ビンゴゲームに目を輝かせ、はしゃぎ合うサロン活動に取り組んでいます。

高齢者中心の集いで、健康生きがい活動、仲間の相互の見守り、介護予防活動に楽しく取り組まれている上無津呂サロンを紹介します。

そうきんを縫って学校へ届けます。



初盆参り

ご寄附のお礼として、8月10日に故人を偲び、初盆を迎えられた方のご霊前にお参りをさせていただきました。



ご寄附お礼

富士地区の社会福祉事業のために次の方々からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。いただきました寄附は、富士地区の社会福祉事業に大切に使用させていただきます。

(令和5年6月9日から9月20日までの受付分で、寄附者のご了解を得て掲載しています。)

(杉山)	久保京子様	(故鳥谷俊彦様)
(下熊川)	小副川玖美子様	(故小副川稔様)
(中原)	嬉野清次様	(故嬉野サツキ様)
(中原)	瀧澤茂様	(故瀧澤トヨ様)
(大串)	右近隆城様	(故右近真隆様)
(大串)	堤美紀子様	(故堤騎代美様)
(下無津呂)	山口智子様	(故山口タズコ様)
(下小副川)	鮫島良子・隆晃様	(故鮫島健様)
(葛蒲)	福井栄司様	(故福井保様)
(富士町出身)	豪雨災害被災地支援寄附	
(杉山)	大坪洋継様	特殊寄附

ご寄附は、富士地区社会福祉協議会(富士公民館内)で、お受けいたします。

問い合わせ先 富士地区社会福祉協議会(富士公民館内) TEL 58-2882
大坪 090-1515-7700 森木 080-1734-1546

富士地区社会福祉協議会(10月～1月)行事予定

月 日	事 項	事 業(行 事)
10月1日(日)	・社協だより発行(第8号)	憩の家・出てこん場事業(年間) 見守り協力員活動(年間)
10月18日(水)10:00～	・赤い羽根共同募金運動開始	
10月21日(土)～22日(日)	・佐賀市校区(地区)社協会長会	助けあい・支えあい事業(年間) 地域づくり推進事業(年間) (絵手紙交流活動)
10月26日(木)10:00～	・第38回富士町ふれあい祭り出店	
11月10日(木)9:00～	・富士地区常任理事会	憩の家事業に伴う事業調整 (高齢福祉課・おたっしや本舗・地区社協)
11月24日(金)10:00～	・赤い羽根共同募金協力依頼	
12月15日(金)15:30～	(町内の事業所及び店舗等)	年末年始地域福祉交流事業 (会場設営・米洗い)
12月19日(火)13:30～	・富士地区常任理事会	
12月21日(木)8:30～	・佐賀市校区(地区)社協会長会	年末年始地域福祉交流事業(餅つき)
12月22日(金)8:00～	・年末年始地域福祉交流事業	
12月23日(土)13:00～	・餅・屠蘇配布	社協だより発行(第9号)
1月1日(月)	・富士地区常任理事会	
1月26日(金)10:00～		



令和5年10月1日発行

第8号

富士地区社協だより

発行責任者 富士地区社会福祉協議会 会長 吉浦利清

ふれあい祭りに出店

テント運営

富士地区社会福祉協議会・富士地区民生児童委員協議会
富士町ボランティア連絡協議会・ふれあいるーお支援グループ

期日 10月21日(土)・22日(日)

会場 富士支所庁舎周辺

楽しいイベント盛りだくさん!お待ちしております!

〇展示コーナー



「希望くん」が
みんなを待っているよ!

※避難所防災グッズ等を展示して紹介!
※両日【防災食】を配布します。※数に限りがあります。

〇わた菓子コーナー



〇キッズハロウィンパレード

《10月22日(日)11:30 ステージ横集合》



仮装して会場内をお散歩♪
お菓子をくれなきゃイタズラするぞ!

〇チャリティバザー



協力のお願い

※ご家庭に眠っているベビー服・日用品(タオル・お茶の葉・箱入り食器等)
※届け先: ふれあい広場(富士支所2階) 火曜日・木曜日受付



故郷に寄り添ったあたたかい寄附をいただきました

— 中原、大串、麻那古、上無津呂、下無津呂の5地区に配分 —

「多額のご寄附、ありがとうございました。」

富士町出身の方から「痛ましい豪雨災害（7月）を目にし、被災地でのボランティア活動に参加することができないため寄附金で支援をしたい。」と寄附申出の一報を受け、自治会会長さんと協議の上、5地区に配分を行いました。



ボランティア支援（市社協提供）

生活再建に向け「災害ボランティアセンター」が設置されました

— 県内外から延べ400人のボランティア支援 —

佐賀市社会福祉協議会では、「災害ボランティアセンター」を設置し、豪雨で被災された方への支援活動が行われました。

町内で13世帯、ボランティアの派遣回数37回で、県内外から延べ400人のボランティア支援（9月2日現在）を受けました。この間、被災地区の自治会長様方の多大なご協力により、支援を行なうことができたということでした。



麻那古（円徳寺）

ひとり暮らし高齢者宅を訪問しました

— 日頃から助け合える関係を備えておくための取り組みです。 —



「お変わりありませんか？」

富士地区民生児童委員協議会と富士地区社会福祉協議会の共催で、70歳以上のひとり暮らし高齢者165人を対象に、孤独感解消と安否確認を兼ねた訪問活動を行いました。

ひとり暮らしの場合、いざ避難が必要になっても避難所まで自力で向かうことが難しくなることも考えられます。また、誰にも頼ることができず避難するタイミングを逃してしまうことも考えられます。

日頃から住民同士の声の掛け合いを習慣化したいものです。

香月幸子さん（芭木）
名誉会員（90歳以上）表彰受賞
— 「食と栄養」を常に考え、
社会活動に積極的に参加 —



食生活改善推進員として、約40年間積極的に「食と栄養」に取り組み、「定例会員研修」や「食の健康教室伝達会」に参加され、現在91歳です。

月2回の詩吟サークルや指定障害者支援施設富士学園（内野）ではクリーニングボランティアとしても活動されています。また、「生きがい健康づくり」として、富士地区社会福祉協議会が運営する「憩の家・出てこん場事業」へも積極的に参加されています。

受賞者を代表して、「100歳まで頑張ります！」と宣言されました。模範的な「健康長寿」の生き方に学びたいものです。



定例会員研修

お気軽にご相談ください

「身体障害者相談員」（菖蒲）菖蒲 初雄さん
（連絡先）090-9797-5171



身体障害者の生活上のさまざまな相談に応じ、必要な制度を活用できるよう福祉事務所などとのパイプ役になったり、障害者のための社会参加に関する地域活動や行事を公的機関、関係団体と協力したりして、福祉の増進を図っていただいています。



10月1日から 赤い羽根共同募金運動が始まります

富士地区民生児童委員協議会と富士地区社会福祉協議会では、おおよそ町内68か所の個人店舗や会社等へ募金のご協力の訪問を予定しています。ご協力いただきました募金は、令和6年度の地域福祉活動の財源として配分が予定されています。



富士地区では皆さんから寄せられた募金で、
令和5年度自治公民館の備品整備が行われました。

— 上無津呂・下関屋・下合瀬 —



〇ストーブ

（上無津呂自治会）

（地域の皆さんの声）

当地区の冬季は、降雪量が多く厳寒地域です。地区民誰もが利用する公民館を温かな環境に整えることができました。



〇椅子（下関屋自治会）

（地域の皆さんの声）

公民館には、座卓のテーブルがありますが、今回の椅子の整備により、高齢者の方にやさしい環境づくりができたこと、喜ばれています。



〇テーブル（下合瀬自治会）

（地域の皆さんの声）

高齢者が増えると足曲げが不自由になり、会議テーブル（高テーブル）を整備したことにより、誰もが参加しやすい環境を整えることができました。



“ふれあいるーむ”の4年ぶりの出店は、 笑顔いっぱいのがつかしい7千同窓会

ふれあいるーむ支援グループ 代表 藤田美穂子

お天気も良く、前日はおしゃべりしながら楽しく準備。1日目は、洋服・日用品等のバザー、2日目はバザーに加え、ハロウィンパレードを開催しました。

久しぶりの出店で不安はありましたが、バザーも好評、他のお店の協力もあり、ハロウィンパレードも80組総勢 200人程の大盛況でした。懐かしい、ふれあいるーむ利用者さんも沢山来てくださり、プチ同窓会みたいになり、賑やかで笑いが絶えませんでした。暑い中、マスコットキャラクター“希望くん”に入ってくれたスタッフの子ども達も会場を盛り上げてくれました。スタッフのチームワークも、和気あいあいとバッチリ!!

今回も、ボランティアスタッフさんや家族の応援で、自分達も楽しめた“ふれあい祭り”となりました。



「ふれあいるーむ支援グループ」のメンバーはいつも笑顔が絶えません。(当日の参加者)



参加できる人が参加できる時に
出店の準備に取り掛かりました。

ご寄附お礼

富士地区の社会福祉事業のためにと、次の方々からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。いただきました浄財は、大切に使用させていただきます。

(令和5年9月20日から12月22日までの受付分で、寄附者のご了解を得て掲載しています。)

(古 湯)	西 祥 子 様	(故西 綾子様)
(古 湯)	山 口 勝 也 様	(故山口範雄様・ツル代様)
(鎌 原)	永 松 絹 子 様	(故永松哲郎様)
(大 串)	八 段 和 久 様	(故八段ユウ様)
(下無津呂)	吉 浦 幸 子 様	(故吉浦一樹様)
(大 野 原)	柴 田 秀 晴 様	(故柴田賢二郎様)
(上小副川)	坂 口 ツルエ 様	(故坂口 進様)
(上 関 屋)	内 田 雄 二 様	(故内田春子様)

ご寄附は、富士地区社会福祉協議会(富士公民館内)で、お受けいたします。

問い合わせ先 富士地区社会福祉協議会(富士公民館内)TEL58-2882

大坪 090-1515-7700 森木 080-1734-1546

富士地区社会福祉協議会(1月～3月)行事予定

月 日	事 項	事 業(行 事)
1月 1日(月)	・社協だより発行(第9号)	憩の家・出てこん場事業(年間)
1月26日(金)10:00～	・第7回常任理事会	見守り協力員活動(年間)
2月 9日(金)14:00～	・高齢者憩の家事業活性化委員会	助けあい・支えあい事業(年間)
2月22日(木)10:00～	・第8回常任理事会	
3月11日(月)14:00～	・高齢者憩の家支援員打合せ会	
3月15日(金)19:00～	・第2回地区社協役員会	
3月18日(月)10:00～	・第5回佐賀市校区社協会長会	
3月19日(火)10:00～	・住民主体サービス事業に伴う事業調整 (高齢福祉課・おたっしや本舗・地区社協)	
3月26日(火)10:00～	・第9回常任理事会	



富士地区社協だより

令和6年1月1日発行

第9号

発行責任者 富士地区社会福祉協議会 会長 吉 浦 利 清



謹賀新年

新年のごあいさつ



富士地区社会福祉協議会会長

吉 浦 利 清

明けましておめでとうございます。

昨年7月の豪雨災害により、被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

富士地区社会福祉協議会は、町民の皆さんの多大なるご支援ご協力により、基幹事業である「憩の家 出てこん場事業」「見守り協力員事業」「歳末交流(餅配布)事業」のほか、諸事業が着実に推進できておりますことを、ご報告申し上げます

また、令和5年も多くの方から沢山の寄付(香典返し等)をいただき、深くお礼申し上げます。いた

だきました浄財は、当社協の事業や運営に、有効に充てさせていただいておりますことを、ご報告申し上げます。

さて、今年は地区社協設立から4年目となりますが、少子化、高齢化が著しく進み、その状況に対応した事業の展開が難しくなっています。

しかし、富士町の福祉を絶やすことはできませんので、引き続き町民の皆さんの温かいご支援ご協力を切にお願い申し上げます。



鏡餅と屠蘇で温もりのお正月



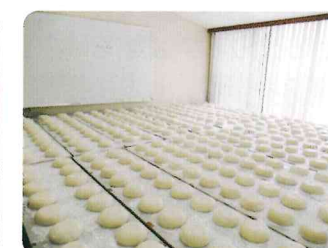
— 地域の方が鏡餅を、町内の小中学生が屠蘇とあて名書きを —



まずは、もち米洗いから



もちを丸める様子



でき上がったもち



後片付けもみんなで行いました



あて名書きと封筒いっぱいのイラスト描き(町内の小学生)

年末交流事業として、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に民生委員により、餅と屠蘇を配り、安否確認を行いました。雪が降る中、餅つき準備から当日の餅つきまで、朋友会(富士町役場OB)とボランティア連絡協議会併せて42人の方のご支援により餅つきを行いました。

集中豪雨による甚大な被害経験をもとに、防災研修会

テーマ『災害支援のそこが知りたい！&防災グループトーク』

災害支援の実態についての情報共有と地域のつながりの再生に向け、令和5年11月28日にフオレストアジで開催しました。講師は、富士町の支援に関わっていただいた「一般社団法人おもやい」と「同法人佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）」からお招きし、現場での関わりや日頃の防災の備えについて講義をいただきました。



熱心に聞き入られる参加者



防災グッズの関心を高めました。



防災グッズの活用法を学びました。



参加者の声

近助（住民間の助け合い）の大切さを学びました 一日頃から顔の見える関係づくりが肝要一

中原自治会長 馬場 真也

昨年7月10日の線状降水帯による北山地区の北部エリアの被害は、悲惨なものでした。

全国での過去の線状降水帯被害をマスメディアを通して見聞きしていた我々は、他人事のような感覚で捉えていたのは事実です。

中原地区でも国道・県道・市道・町道・林道・農道等の公の被害は別として、個人被害としては、裏山の崩壊による土砂崩れ2件を含め床下浸水4件が発生しました。

大規模・中規模の2件は業者による土砂搬出に委ねるしか方法はありませんでしたが、他の2件は、他府県からの延べ60人に及ぶボランティアさんの活躍・ヘルプによりタイムリーな搬出がスムーズに完了いたしました。

これは、佐賀市と佐賀市社会福祉協議会の連携の賜物ですが、その受け皿として自治会内で、災害を想定し、日頃から顔の見える関係づくりが肝要です。近所同士や自治会長・民生委員・児童委員・見守り隊員による心掛け・声かけ・見守りを継続し、情報交換を怠りなく、皆で備えていくことが、とても大事になることを今回、痛感いたしました。地域住民個々の人がアンテナを張り巡らし、尚且つその情報を束ねていくリーダーの存在が求められます。

防災意識の大切さを学びました。

富士地区民生児童委員協議会 老人福祉部会 右近 隆城

「一般社団法人おもやい」の講師の方から、これまでの活動を通して見えてきた様々な点をスライドを使って分かり易く話され、普段の防災意識の大切さを学びました。

後半は班に分かれて各人が必要と思う防災グッズを話し合い、見落とししている物を指摘いただき変参考になりました。災害時に役立つランタンやエアベット、防寒シートなどの紹介も行われ、参加者の多くが防災持出グッズの準備をしていないという意見があり、改めて備蓄しておく必要を考えさせられました。

参加者は自治会長や民生児童委員、消防団員等災害時において直接色々な事を聞かれる立場にあり、日頃準備する物をお答えする事が出来るのではと思います。地区内においては自主防災の一環として、避難行動の訓練をしていますが、各個人が防災に備えることを改めて学ばせて頂きました。



女性消防団の皆さん



簡易ベッドの扱い方を体験しました



簡易トイレの体験

防災グッズを広めます

佐賀市消防団富士支団女性部長 小副川恵美子

平成30年7月と令和5年7月に、北山地区では甚大な被害が発生しました。これからいつ起こるかわからない災害に私たち女性消防団が、何ができるか、何をしなくてはならないのか、などの話し合いをしました。

以前、広報誌で「あったらいいな、防災グッズ」と「災害食の作り方」を紹介しました。

今回、講師の方から使い勝手のいい防災グッズを紹介していただきました。

簡易性ベッド・マットは軽くて持ち運びも簡単で、寝心地も良かったです。特にアルミの防寒グッズは、広くて暖かく絶対に役立つものだと思います。

今回の研修会を通して、防災グッズの必要性を女性消防団として、広めていきたいと思います。

避難と防災グッズの大切さを学びました

下無津呂婦人会 満行 幸子

昨年7月の大雨では、下無津呂地区では家の裏山が崩れて家の中に泥水が入ってきたり、家の前の橋が倒壊し、車が出せなくなったり、大変な苦労をされました。地区役員や消防団は、朝早くから災害場所を回り、家屋の泥水のかき出しや、家の廻りの土砂を取り除く作業をされました。婦人は、公民館で炊き出しを行いました。避難警報が発令されると、独居の方や高齢者世帯の方の避難確認を行います。自分は大丈夫、我が家は大丈夫と思われ、避難されない方も沢山おられ、病気や認知症の家族がおられたら躊躇されます。

私も、家族と一緒に時は大丈夫と思い避難していませんでしたが、独居になった今は、子ども達や廻りの方に迷惑を掛けられないと思い避難しました。避難先では、持参した毛布と枕で休みましたが、自宅と違ひなかなか眠ることが出来ません。でも、廻りに誰かがいてくれると安心できました。

今回の研修会に参加して、防災グッズの見直しをしています。

災害は、誰の身にも起こりうる事で、自分の身を守る事は大切だと思います。

富士地区社会福祉協議会は、「富士町ふれあい祭り」 （令和5年10月21・22日）に出店

一テント内に延べ900人のふれあいの輪が広がりました一

富士地区社会福祉協議会のテントには、富士地区民生児童委員協議会（浦川引範会長）と、富士町ボランティア連絡協議会（杉野幸子会長）、未就学児の親子が集う「ふれあい広場」（富士支所2階）で支援されている、ふれあい一む支援グループ（藤田美穂子代表）で運営しました。

この出店により、民生児童委員協議会では、歳末たすけあい募金運動の一環として、綿菓子バザーに取り組みられ、37,831円の益金を共同募金会佐賀市支会へ寄付されました。

また、富士町ボランティア連絡協議会では、昨年7月の集中豪雨による甚大な被害を受け、「防災グッズ」の展示を行い、広く防災意識を高められました。

ふれあい一むは、バザーやハロウィンパレードを主催され、多くの親子が楽しめました。社会福祉協議会のテントでは、2日間で、延べ900人のふれあいの輪が広がりました。



民生児童委員協議会の綿菓子バザー



富士町ボランティア連絡協議会の防災グッズの展示



「ふれあいまつり」会場で希望君も一躍



「ハロウィンパレード」は、会場を賑やかに。そして参加の皆さんが笑顔になりました。